

令和4年度 災害発生を想定した訓練の結果報告

- 発災時に適切な支援するために -

災害リハビリテーション対策委員会

委員長 熊倉万実子

日頃より、当委員会へのご理解ご協力ありがとうございます。

2022年9月25日(土)、今年度も日本作業療法士協会と士会が協力し「災害発生を想定した災害シミュレーション訓練」を実施いたしました。内容は大規模災害発生を想定し、メールリングリストやLINEグループとGoogleフォームを用いて士会員の安否確認を行いました。

【結果】

	県士会員数	メール会員数	グループ LINE	3日後返信数	1か月後返信数
2019年度	705	186	-	125	127
2020年度	731	250	-	75	79
2021年度	774	336	-	143	164
2022年度	780	370	2	142	166

(返信率 44.9% 昨年度返信率 48.1%)

今年度の訓練で4年目となります。返信率はほぼ昨年度と同様となっており、会員数の2割程度です。毎年参加いただいている方がいる一方で、新規に参加いただく機会が少ないとも考えられます。

実際の発災時には混乱の中、さらに返信数が低下することが予測されます。会員の皆様には平時より訓練に参加していただく他、この安否確認の存在を多くの人に知っていただくことで、災害時に利用していただけるツールになると考えております。そのためにも引き続き災害リハビリテーションに関する教育・普及活動が必要であると感じております。

* 安否確認の目的 *

災害時に県士会会員の安否情報を協会へ報告する他、専門職協会災害部門にて三職種の情報を共有し地域ごとの被災状況の把握と支援計画を立てることにあります。正確な情報と皆様の協力が必要な支援に繋がります。今後とも訓練への参加とボランティア登録、研修会への参加や情報収集などへのご協力をお願いいたします。

